

# アカシア夜話 アカシアンナイト 特別編



## 長沼健先輩を追悼して

平成20年6月2日、日本サッカー協会最高顧問の長沼健先輩(39回)が肺炎のため逝去されました。長沼先輩は母校のサッカー史に伝説的な1ページを刻まれると共に、長年にわたり日本サッカー協会の要職にあって、日本サッカーの改革者として燦然たる足跡を残されました。

特別編では長沼先輩を偲び、広島と東京で深い関わりのあった方々を訪ね、座談会の様子を編集しました。

7月に広島で、野村尊敬広島県サッカー協会名誉会長(50回・元日本サッカー協会副会長)と、メキシコオリンピックで長沼監督の下、銅メダリストとなった小城得達広島県サッカー協会会長(51回)のお二人をお話をうかがい、東京では9月に、昭和22(1947)年12月開催の全国(旧制)中等学校蹴球選手権大会で、長沼先輩と共に見事優勝された田中清司さん(39回)、桜井頼己さん(39回)のお二人と、鬼武健二さん(48回・Jリーグチェアマン)に、思い出を語っていただきました。

## 広島での座談会

### ○葬儀

**小城**：互和会ってのがあってね、メキシコで銅メダルをもらったメンバーの集まりなんじゃけど、メンバーの葬式の時に五輪旗で棺を包むんよ。それを皆で持って。**野村**：長沼さんの葬儀は近親者のみでという事で、サッカー協会からも連絡すなと言われとったのに、メキシコのメンバーが皆集って、棺を持って…。あれだけのメンバーが皆集まるんじゃけえ、人徳よのお。**小**：川瀬さんでも、離れて見るしかなかったけえね。



野村尊敬さん

小城得達さん

## 野村尊敬さん 小城得達さん

### ○サッカー界の救世主

**小**：サッカー界じゃあ、今日の繁栄があるのは健さんのおかげ。人柄よね。**野**：人柄と実行力というかな。**小**：実行力もあるから。2003年ワールドカップの招致活動も、大変なエネルギーだったと思うよ。日本へ帰らずに成田で乗り換えて、よそへ行ったというのもある。一時、変な叩かれ方をしたけど、健さんが日韓共催の苦渋の決断をしなれば、ワールド

カップの成功は無かったはず。**野**：日本リーグが始まったときも、メキシコ五輪でメダルを取ったときも、サッカー協会を近代化したときも、Jリーグもワールドカップも、健さんが要所に必ずかかわって、影響力を発揮されていた。

### ○若くしてオリンピックの監督

**小**：昭和39(1964)年の東京五輪の時は、もう監督。東京の2年前か、若手に変えて東京オリンピックを戦わにゃいかんという中で人選されて。長沼監督33歳、岡野俊一郎コーチ32歳。それまでは日本サッカー協会の中に古い体質があって、ちょっと一悶着もあったかもわからんけれども。だけどコーチ



長沼 健さん

にクラマーを入れたとか、会長をされていた一中(現国泰寺高校)出身の野津謙さんという方が決断されて。**野**：だから、一気にすごい若返りしたんよね。オリンピックのために。**小**：日本のサッカーも、いわゆる惨敗みたいな結果で東京大会を終わらせたくないというのがあった。東京五輪の前に当然強化っていうので、千葉に東大の合宿所があるんだけど、そこで3カ月もキャンプをしたっていうのは、やっぱり大きかったですよね。まあ東京は8位だから、一応ね。わしの蹴りっぱぐれから、アルゼンチンにも勝ったことだし。**野**：小城はまだ学生じゃったんよのお。じゃが、当時の日本代表は誰が見てもすぐに分かった。今の代表はよう分からんけど、当時の代表は練習の量も質も他の選手とは全く違うとった。**小**：チームに帰ったらポジションが無いようなことはなかったですよ。監督時代の健さんについては、とにかく親分肌。あんまり怒りやせんし、技術的なことは岡野さん。だから高所から見て、手を抜いたり変なことをしよると言われるだけであって。そうでなけりゃあ何も言うちゃあない。**小**：そうそう。メキシコのオリンピックの時、選手村の中でね、夜中に盗人が入るとるんかと思ったら…。暑いから毛布とか蹴つとるんよの、選手が。それで寝冷えしちゃうけんけいいうので、夜中に健さんが、一人一人に布団をかけて回つとるんよね。**野**：大部屋？**小**：大部屋です。それで「わしはそれぐらいの事しかできんけん」と言うて。クラマーさんの指導

や、猛練習についていった選手も凄かったけど、健さんのリーダーシップがあったから銅メダルが取れたんですよ。

### ○附属サッカー第1期黄金時代

**野**：木村現(RW・アジアの黒豹と異名を取った・39回)、長沼(RI)、樽谷恵三(CF・39回)と、3人もフォワードで揃ってるっていうのは、まずよそのチームはなかったでしょう。**小**：それで後ろに桜井(CH)さん。ともかく両足で球が扱えたのは、広大附属だけだと。特にフォワードの破壊力は、まあすごかった。健さんは160cm代後半かな。あれでフォワードをやりよってだからね。器用な選手じゃなかったと思うよ。**野**：器用じゃない？**小**：器用じゃない、なんとなくずる賢い。相手のやりたいことを読んで、その先のプレイをする。匂いをかいでね。楽をして点を取る、というようなイメージじゃったね。

## 東京の座談会

### ○全国中等学校選手権優勝(昭和22年)

**田中**：1回戦の東京都立五中(現小石川高校)の試合の前に、本当は練習を見なかったけど監督が見せなかった。特に相手のセンターフォワードがうまいから、見たら怖気づくだろうと…。**桜井**：センターフォワードの岡野にシュートを打たせるなって。**田中**：それで何とか前半を抑えて、後半になったらなんかいけるぞって気持ちになって、結局後半30分で5点取ってね。今考えたらよう入ったもんだと思うけどね。**鬼武**：30分だった？**田中**：当時は30分ハーフだったね。(旧制)中学生だったから。**桜**：特に意識する事もなく勝ち進んで、決勝戦も尼崎中学に7対1で勝利。**田中**：健が言ってたけど、決勝の7対1っていうのは、いまだに破られていないって。



在学中の長沼健さん

**桜**：結局4試合で21点取って、取られたのは1点だけ。**田中**：長沼がボールを持つと、木村の前のほうにバーンと蹴る。それを木村は必死になって走って、センターリング。ゴール前で長沼と樽谷が代わりばんこに走りこんで、シュート。もし左サイドももう少し強かったら、もう9点ぐらい取れたんじゃないか？

III: ジャが桜井さん、あの時優勝すると思うとったか? 桜: 全然思わなんだ。毎日、勝った、勝った…、気がついたら優勝。はじめから優勝を狙うとか、誰々がスターとか全然なかったよね。III: 帰って広島駅に着いたら、応援団が何人か来ていて、ああ、勝ったんだなと思って。桜: そう、そんなもんじゃった。



後列: 鬼武健二さん 石井泰行さん  
前列: 田中清司さん 桜井頼己さん

○苦しかった県予選

石井: それだけ全国で圧倒してても、予選は厳しかったらしいですね? 桜: 修道との決勝戦はねえ。III: 一中を加えた3校はハイレベルじゃったよ。桜: 修道、すごく苦手だった。一中の方がやりやすかった。修道の奴ら、絶対に附属には負けられんという、選手がえらい自信を持ってたね。III: 決勝当日、雨が降ったんですよ。監督が多々信二さん(32回)という東大を出られたお医者さんでね。グラウンドの水溜りを指差して、皆そこに寝ろと。それでべたっと言われるままに寝たら、もうどろどろじゃん。もうスライディングしたりするのが何でもないじゃない。それで出足が良くなって、トントんと。後半あとわずかで、健がPKとして現(あらわ)がコロコロと転がして1点。桜: 3校のどこが全国に出ても、優勝したんじゃないかね。

○イモ畑を整備してグラウンドに

III: 終戦になって1年くらいは西条の仮校舎だったんだけど、バラックのような校舎ができて千田町に帰った。グラウンドは戦時中、イモ畑になっててね。皆でロー

ラーを引っ張ってちょっとずつ均してね。半分できたところで大洲の材木屋の先輩の所へ行って、足場用の丸太を3本くらいもらってきて、大八車で引っ張って帰ってゴールを作った。ところが素人だから、パターンと倒れたり、網が無いもんだからシュートが跳ね返ったり。軍隊が使ってた擬装網を集めてもらって、ネットができたときは嬉しかったな。もうボール拾いしなくて良いんだと。桜: ボールは2個しかなかった。だからすぐ破れる。III: それを針で縫うんだけど、やる気のないのがやると中のゴムを破っちゃう。持って帰ってゴムを貼ってね。桜: あちこち修理して、いびつだった。

○サッカー界、車の両輪

III: 健はとにかく人の言うことを良く聞く事と、包容力があつたということは認めますね。躰が良くてね。あの両親に育てられたらあのくらいの事はできるわ。桜: 小学生と父兄を集めて話をしたとき、まず挨拶で、「君たちの中に靴を脱ぎっぱなしにしてきた人が居るだろう、



韓国とのワールドカップ共催を決めた長沼健さん(左)

靴の整理もできないような人間にサッカーの話はできない」と言った。あれも立派だった。III: 昭和28(1953)年、ドルトムントで開かれた国際学生スポーツ週間(後のユニバーシアード)の学生選抜になった時、長沼と岡野が再会して友達になるわけよ。それから車の両輪だわ。二人の今日があるのは、お互いの力だと見とる。桜: そう、岡野という人は、人間的にも全く長沼と同じような。ひとつも偉ぶらんし、よくこんな人間がサッカー界に居るなというくらい人間ができとる。これが二人でサッカーを盛り立てた。III: そのとお

りでしょう。でもね、僕は岡野さんとも健さんとも仕事をしたけど、まるっきり違うと思う。でも、お互いがものすごく良い。III: 私がヤンマーの監督を辞めて東京の支社に居た昭和55(1980)年頃、健さんから突然電話をもらいましたね。財布を忘れたらしいんですが、「東京駅に居るんだけど、何とかならないか」と…。すぐに総務に走って、金を借りて届けました。それくらい健さんから頼まれたら、何とかしなきゃと思いましたよ。当初弱かったヤンマーが日本リーグに加盟できたのも、健さんのいた古河電工のおかげだし。監督を辞めて15年も経ってJリーグが始まった時、またセレッソを見る事になったのも、やっぱり健さんがおられたから安心感があつたんですよ。III: 健のすごい所はプレイヤーとして一流だったのに、事務屋としてもきちんとしててね。桜: サッカーのうまい奴は沢山居たけど、健ほど人間として度量が大きく、優しく、気も良くつく人はおらんかったよね。

編集にあたって

今回、取材にあたって資料を調べてみると、想像以上のものすごさに驚きの連続でした。紹介できたのは、一部のエピソードにとどまる事をお詫びします。

かのデットマール・クラマーをして、メキシコでの成功も長沼先輩のリーダーシップあればこそ、と絶賛されています。私のようにサッカー班に所属しなかった者も、母校の誇れる先輩の一人として、長年畏敬の念を抱いておりました。以前取材でお会いした時も親しくお話をいただき、そのお人柄に強く惹かれた事を思い出します。

その厳しさと柔和さを併せ持つまなごしを想いながら、追悼のペンを置きます。(本文中、先輩に対する敬称は「○○先輩」、「○○さん」に統一しました。)

\*\*\*\*\*  
文責・編集: 甲斐 稔(63回)  
編集補: 河本良子(63回)  
\*\*\*\*\*

長沼 健さん(39回)を追悼する会

財団法人広島県サッカー協会(会長 小城得達氏(51回))主催の「2009サッカーサックスフェスタ」が開催されます。表彰式(右参照)に引続き行われる「長沼健さんを追悼する会」並びに懇親会は、サッカー協会以外の方も対象の催しですので、アカシア会員の方も是非ご出席下さい。

日時: 平成21年1月31日(土) 「長沼健さんの会」・懇親会: 14:30~16:00  
場所: ANAクラウンプラザホテル広島3階 カトレア 会費: 5,000円  
申込・問合せ: 広島県サッカー協会 TEL(082)212-3851 FAX(082)212-3852  
できるだけ1月13日までに申込みをお願いします。飛び入り参加も歓迎します。

サッカー  
サックスフェスタ

広島県サッカー協会は毎年、功労者、優秀選手・チームの表彰式を行い、引続き、関係者の日頃のご恩に対する感謝の意を込めて、懇親会を開催している。「長沼健さんの会」の前に、表彰式が「オーキッド」で行われる。(13:00~14:00)